

2024年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330532124	保育実習Ⅲ(施設実習)	その他		専門	2	選択	3後期

科目の概要

この科目は子どもの生活学科の教育目標である人々の日常生活を子育ての面から支援することができる人材を育成する科目として設定されている。これまでの保育実習を踏まえて行う保育実習Ⅲである。保育内容を学ぶために、保育の計画(保育課程・指導計画)がどのように実践の場で実施されているのか学ぶ。また、これまでの社会福祉分野の学びを生かし、保育所での様々な子育て支援を知る中、実習において何を自分の追求したいテーマなのかを明確にしていく。

学修内容	到達目標
① 既習の経科目保育実習の経験を踏まえ、児童福祉施設の役割や機能について実践を通して学修する ② 家庭と地域の生活実態にふれて、子ども家庭福祉、社会的養護、障害児支援に対する理解をもとに保護者支援、家庭支援のための知識、技術、判断力を習得する ③ 保育士の業務内容や職業倫理について具体的な実践に結びつけて学修する。 ④ 実習における自己の課題を理解し、今後の学習に生かす。	① 既習の経科目保育実習の経験を踏まえ、児童福祉施設の役割や機能について実践を通して理解できる。 ② 家庭と地域の生活実態にふれて、子ども家庭福祉、社会的養護、障害児支援に対する理解をもとに保護者支援、家庭支援のための知識、技術、判断力を深めることができる。 ③ 保育士の業務内容や職業倫理について具体的な実践に結びつけて理解することができる。 ④ 実習における自己の課題を理解し、今後の学習に生かすことができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
---------------------	---------------------------

前に踏み出す力	主体性	課題をするのに必要な知識について、教科書・文献を使って自己学修をすることができる。
	働きかけ力	目標を達成するために、自分ひとりではできないとき人の力をかりるための声掛けができる。
	実行力	困難があっても目標を変更せず到達することができる。
考え抜く力	課題発見力	思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。
	計画力	計画通り進まない時は、計画を見直し修正できる。
	創造力	物事を考える時に、固定概念に捉われることなくいろいろな方向から考えることができる。
チームで働く力	発信力	整理した内容を、的確な文章で表現できる。
	傾聴力	人の意見を確認し、さらに自分の意見を述べることができる。
	柔軟性	自分と異なる意見や価値観を尊重し、柔軟に受け入れることができる。
	状況把握力	自分に割り当てられたことだけでなく、集団の中で自分ができていることを考え、目標に向かって努力できる。
	規律性	無断欠席、遅刻、居眠り、私語など講義に支障をきたす行動をせず、活動が円滑に進行するようルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	失敗したときやプレッシャーで動揺したり、落ち込んだりしても、長く引きずることなく次へ進むことができる。

テキスト及び参考文献

教科書：保育実習指導の時間に用いたテキストや手引書
 参考文献：保育所保育指針

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：「保育実習Ⅲ(施設実習)」は学科専門科目「実習領域」として設定されており、「施設実習」で獲得した知識・技術を活用する。
 資格との関連：保育士

学修上の助言	受講生とのルール
これまで学習してきた保育に関する科目を復習するとともに、パネルシアター、手遊び、ピアノ等の準備をしておくこと。また、これまでの学外活動の事前指導として受けた内容、事後の感想や反省を思い起こし、役立てようとする姿勢が不可欠である。実習を行ったその日の記録を丁寧に書くことで、一日の振り返りを行うとともに、次の目標を考える姿勢が不可欠である。	積極的な実習態度、節度と責任をもった行動が不可欠である。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①			
				②			
				③			
				④			
	平常評価	小テスト		0	①		
					②		
					③		
					④		
		レポート		90	①	✓	
					②	✓	
					③	✓	
					④	✓	
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		0	①		
					②		
					③		
					④		
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
総合評価割合		100			・児童福祉施設から提出される出席簿・実習記録・評価票を参考に提出された施設からの実習評価を基に総合的に評価する。		

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>① 児童福祉施設の目的や特徴を把握し、福祉施設の利用者の現状について理解できる。</p> <p>② 利用者・家庭・地域についての理解を深めることができる。</p> <p>③ 福祉施設の保育士の職能や職業倫理について理解することができる。</p> <p>④ 利用者が抱える問題やニーズについて理解することができる。</p> <p>⑤ 福祉施設から提出される出席簿・実習記録・評価票を参考に評価する。（評価内容A）それ以上のものをSとする。</p>	<p>① 児童福祉施設の目的や特徴を把握し、福祉施設の利用者の現状について理解できる。</p> <p>② 利用者・家庭・地域についての理解を深めることができる。</p> <p>③ 福祉施設の保育士の職能や職業倫理について理解することができる。</p> <p>④ 利用者が抱える問題やニーズについて理解することができる。</p> <p>⑤ 福祉施設から提出される出席簿・実習記録・評価票を参考に評価する。（評価内容B）</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	児童福祉施設の役割と機能 ・子どもの様子や施設の1日の流れを学ぶ	実習	様々な状況に応じた観察を行い、子どもの様子や1日の流れを捉えることができる。また、積極的に子どもの中に入り、保育者の考えを尋ね、早めの状況把握ができる。	予習: 次の活動準備を行う90分 復習: その日の活動を振り返り、記録・反省する90分	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	児童福祉施設の役割と機能 ・子どもの様子や施設の1日の流れを学ぶ	実習	様々な状況に応じた観察を行い、子どもの様子や1日の流れを捉えることができる。また、積極的に子どもの中に入り、保育者の考えを尋ね、早めの状況把握ができる。	予習: 次の活動準備を行う90分 復習: その日の活動を振り返り、記録・反省する90分	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	施設における支援の実際 (1)受容し共感する態度について	実習	様々な状況に応じた観察を行い、子どもを受容し共感する態度について理解し接することができる。また、積極的に子どもの中に入り、保育者の考えを尋ね、早めの状況把握ができる。	予習: 次の活動準備を行う90分 復習: その日の活動を振り返り、記録・反省する90分	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	施設における支援の実際 (2)個人差や生活環境に伴う子どものニーズの把握と子ども理解について	実習	個人差や生活環境に伴う子どものニーズの把握し子ども理解につとめることができる。また、積極的に子どもの中に入り、保育者の考えを尋ね、早めの状況把握ができる。	予習: 次の活動準備を行う90分 復習: その日の活動を振り返り、記録・反省する90分	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	施設における支援の実際 (3)個別支援計画の作成	実習	様々な状況に応じた観察を行い、個別支援計画の作成ができる。また、積極的に子どもの中に入り、保育者の考えを尋ね、早めの状況把握ができる。	予習: 次の活動準備を行う90分 復習: その日の活動を振り返り、記録・反省する90分	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	施設における支援の実際 (4)個別支援計画の実践	実習	様々な状況に応じた観察を行い、個別支援計画の作成ができる。施設の理解を深め、それまでに学習し、経験してきた保育知識を実践できる。	予習: 次の活動準備を行う90分 復習: その日の活動を振り返り、記録・反省する90分	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	施設における支援の実際 (5)子どもの家族への支援と対応	実習	施設の理解を深め、それまでに学習し、経験してきた保育知識を実践できる。	予習: 次の活動準備を行う90分 復習: その日の活動を振り返り、記録・反省する90分	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	施設における支援の実際 (6)各施設における多様な専門職との連携・協働	実習	施設の理解を深め、それまでに学習し、経験してきた保育知識を実践できる。	予習: 次の活動準備を行う90分 復習: その日の活動を振り返り、記録・反省する90分	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	施設における支援の実際 (7)地域社会との連携・協働	実習	施設の理解を深め、それまでに学習し、経験してきた保育知識を実践できる。	予習: 次の活動準備を行う90分 復習: その日の活動を振り返り、記録・反省する90分	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	保育士の多様な業務と職業倫理について	実習	施設の理解を深め、それまでに学習し、経験してきた保育知識を実践できる。	予習: 次の活動準備を行う90分 復習: その日の活動を振り返り、記録・反省する90分	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	保育士の多様な業務と職業倫理について	実習	施設の理解を深め、それまでに学習し、経験してきた保育知識を実践できる。	予習: 次の活動準備を行う90分 復習: その日の活動を振り返り、記録・反省する90分	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	保育士としての自己課題の明確化について	実習	実際に保育をした結果について評価を受け、反省をまとめる。自分の体験から学んだことについて考え、自分の課題を明らかにする。	予習: 次の活動準備を行う90分 復習: その日の活動を振り返り、記録・反省する90分	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	保育士としての自己課題の明確化について	実習	実際に保育をした結果について評価を受け、反省をまとめる。自分の体験から学んだことについて考え、自分の課題を明らかにする。	予習: 次の活動準備を行う90分 復習: その日の活動を振り返り、記録・反省する90分	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	総括 施設実習の振り返り	実習	実際に保育をした結果について評価を受け、反省をまとめる。自分の体験から学んだことについて考え、自分の課題を明らかにする。	予習: 次の活動準備を行う90分 復習: その日の活動を振り返り、記録・反省する90分	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	総括 施設実習の振り返り	実習	実際に保育をした結果について評価を受け、反省をまとめる。自分の体験から学んだことについて考え、自分の課題を明らかにする。	予習: 次の活動準備を行う90分 復習: その日の活動を振り返り、記録・反省する90分	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力